

## 『悪魔』ってどんなものなのですか

みなさんは、ゆうれい、妖怪、悪魔とか、いると思われませんか。いるとしたらどんな姿かたちでどんなことをすると思われませんか。

よく『悪魔』というのは頭に角が生えていて、しっぽがあって、かぎ爪でもった恐ろしい形相である、とか想像されているのを聞きますが、どうでしょうか。もし悪魔がそんな姿かたちだったとしたら、私たちは悪魔を見たらすぐに逃げ出すと思うんですよ。それでは悪魔は仕事にならんです。

本当の悪魔というのは、見た目はとてもやさしそうで、普通の人と見分けがつかないそうです。そして私たちのところに近づいてきて、私をねぎらい、ほめてくれるそうです。普段いろんな場面で叱責されている私たちは、そんなに優しくされたらついうれしくなって、心を許してしまいます。そして悪魔は更にささやきます。「あなたは間違っていない」「あなたは正しい」「そんなあなたが苦しむのはおかしい」「あなたを苦しめているものが間違っている」といった感じでささやくそうです。そうすると、私が心を許した優しい人からそのように言われるので、私を苦しめる周りのことを許せなくなってきました。ついには今までは「まあまあ、お互い様だし」とやり過ごしてきた世界が一変し、私を苦しめる憎いあいつをやっつけよう、となっていくことでしょう。そして、そうなったら悪魔は仕事完了とばかりほくそ笑むのです。

では、悪魔が仏さまに出会ったら、どうするでしょう。仏さまは悪魔を退治すると思いませんか。いいえ、仏さまはそんなことはなさらないのです。ではどうするかというと、仏さまは悪魔に出会ったら悪魔を仏に変えていきます。仏さまは、それまでの世界を一変させるような悪魔のささやきの中にいたことをハッと気づかせます。そんな悪魔のささやきにまんまと乗せらせる愚かな私を、だからこそすくうのがほとけさまです。

なんで仏さまはこんなにおせっかいなのでしょう。それは私たちが、そんな悪魔のささやきによる地獄の苦しみの只中にあっても、それでも救われたい、助けてほしいと願うものだからだと思います。なんとも都合の良いのが私というものなのでしょう。ほとけさまに出あった人は、慚愧（振り返り、恥じ入る）と感謝の世界で生きるといわれます。今までもこれからも、何度でも悪魔のささやきに揺らぐであろう私ですがほとけさまは仏さまに出会ってしまった私を手放すことはなく、仏さまにしていくのです。